

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和02年12月01日

計画の名称	北上市における循環のみの実現（防災・安全）（第3次）															
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	北上市															
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。															
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		595	A	595	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）			0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	(R4末)	(R6末)
1	処理場（電気・機械設備）の長寿命化対策実施率15.4%（R2当初）を100.0%（R6末）に増加させる。			
	処理場（電気・機械設備）の長寿命化対策の実施率	15%	100%	100%
	改築工事実施済施設数（箇所）／改築工事が必要な施設数（箇所）			
2	管路の長寿命化対策実施率を30.7%（R2当初）から100.0%（R6末）に増加させる。			
	長寿命化対策（マンホール蓋更新）実施率	31%	63%	100%
	更新数（箇所）／必要更新数（箇所）			

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
北上市下水道ストックマネジメント計画に基づき実施される要素事業：A全て												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	北上市	直接	北上市	管渠（ 污水）	改築	管路長寿命化計画調査	カメラ調査L=45km、管渠更新 設計	北上市	■	■	■	■	■	106		策定済
		ストックマネジメント																	
		A07-002	下水道	一般	北上市	直接	北上市	管渠（ 污水）	改築	管路長寿命化対策	マンホール蓋更新 N=230基 、マンホールポンプ更新 N= 13基、流量計更新 N=10基	北上市	■	■	■	■	■	339	
	ストックマネジメント																		
	A07-003		下水道	一般	北上市	直接	北上市	終末処 理場	改築	北上工業団地終末処理場 施設改築更新	機械・電気設備 長寿命化対 策	北上市	■	■	■	■	■	150	
		長寿命化及びストックマネジメント																	
												小計						595	
											合計						595		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02				
配分額 (a)	52				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	52				
前年度からの繰越額 (d)	40				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d- e- f)	92				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	100				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の名称	北上市における循環のみの実現(防災・安全)(第3次)	
計画の期間	令和2年度～令和6年度(5年間)	交付対象 北上市

花北処理区

北上公共下水道計画一般図(汚水)

北上公共下水道

全体計画区域 2,733.3ha
下水道法事業計画区域 2,593.3ha

A07-003
(北上工業団地処理区)
終末処理場
施設改築更新

A07-001
管路長寿命化計画調査
A07-002
管路長寿命化対策

凡	例	
記	号	名称
---		行政区域界線
---		都市計画区域界線
---		市街化区域界線
←→		全体計画区域界線
←→		処理分区界線
---		事業計画区域界線
---		流域下水道幹線
⊕	⊗	流域下水道幹線接続点及び接続点番号
P		圧送管及びマンホールポンプ設置箇所
北上南幹線		主要な管渠及び名称(計画)
黒沢尻1号幹線		主要な管渠及び名称(既設)
530.0ha		処理分区面積
⊕		北上浄化センター
+		特定公共下水道区域界線
○		環境基準点
---	[A A]	環境基準の類型
---	[A]	
---	[B]	
		既事業計画区域

整備予定箇所の色分け

—	P		新設	(赤)
—	P		増設	(青)
—	P		改築	(緑)

凡 例	記 号	名 称
	— — — — —	行政区域界線
	—— — ——	都市計画区域界線
	— — — — —	市街化区域界線
	— < — > —	全体計画区域界線
	— < — > —	処 理 分 区 界 線
	— — — — —	事業計画区域界線
	— — — — —>	流域下水道幹線
	 >	流域下水道幹線接続点及び接続点番号
		圧送管及びマンホールポンプ設置箇所
	北上南幹線 —————>	主要な管渠及び名称（計画）
	黒沢尻1号幹線 - - - - ->	主要な管渠及び名称（既設）
	530.0 ha	処 理 分 区 面 積
		北上浄化センター
	— + —	特定公共有下水道区域界線
	○	環境基準点
	----[A A]----	環境基準の類型
	----[A]----	
	----[B]----	
		既事業計画区域

整備予定箇所の色分け




 新設 (赤)




 増設 (青)



 改築 (緑)

事前評価チェックシート

計画の名称： 北上市における循環のみちの実現（防災・安全）（第3次）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画との適合等 1) 都道府県構想（見直し予定を含む）に適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画との適合等 2) 流域下水道事業と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画との適合等 3) 市町村独自の下水道事業計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②目標値および内容の妥当性 1) 計画人口は適正な数値となっている。（人口普及率等を目標としていない）	
I. 目標の妥当性	
②目標値および内容の妥当性 2) 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。（施設の長寿命化対策）	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 下水道整備が、他の汚水処理施設の設置より優位となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が得られる事業で構成されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 河川等の水質改善に効果がある。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 3) 地震、降雨等により生じる災害を防止する施設を設置する計画となっている。	
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性 1) 市町村独自の中期計画に基づいた計画になっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性 2) 都道府県構想により定められた目標と整合する計画になっている。	○

[illegible]